

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

配布 6名
回答 6名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・十分なスペースを確保して安全に活動しています。今後は発達状況や年齢に応じた活動スペースを必要に応じて検討し、レイアウトの変更を柔軟に対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			・職員は適切に配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		34%	66%	・現在は身体的に配慮が必要な児童のご利用はありませんが、必要に応じて環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			・事業所内の環境については、利用するお子様の状況に合わせてその都度設定し、安心して過ごすことができるよう努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	66%	17%	17%	・毎月1回、職員会議に全職員が参加し、日々の活動や利用するお子様の様子、業務内容について共通理解を図っています。今後は療育活動についてのより具体的な目標やプログラム設定、振り返りの仕方を検討していく必要があります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	33%	17%	33%	未記入17% ・今回のアンケート実施が初めてだったので、頂いたご意見をもとに改善につなげていきたいと思えます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	33%	17%	33%	未記入17% ・会社のホームページ又は、文書にて保護者の皆様には結果をお知らせしています。また、今後も定期的に自己評価を行い、支援や運営の見直しを行ってまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		17%	66%	未記入17% ・第三者委員会は今年度2回行い、外部から第三者委員会に参加して頂き、ご意見をいただく機会を設けました。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・毎月1回事業所内研修に全職員が参加しています。また、外部研修にも必要な職員が参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	83%	17%		・保護者の皆様や利用するお子様からの聞き取り内容を参考にし、ニーズに沿った個別計画書を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17%	33%	33%	未記入17% ・アセスメントツールはありませんが、個別支援計画に基づき支援を行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	66%	34%		児童発達支援のガイドラインで示している支援内容を考慮し、利用するお子様の姿と照らし合わせて作成しています。今後は、令和6年度の報酬改定に伴い、5領域の観点から子どもの課題を適切に捉え、個別支援計画書の作成につなげていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	83%	17%		・支援会議にて利用するお子様の様子から課題を検討し、支援目標を立てて支援を行っています。今後は、職員間で具体的な支援の仕方についても研修を通して検討していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%		・毎月1回、活動計画の会議を行い、全職員で話し合いながら計画しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%		・月ごとに創作活動、余暇活動、運動療育、社会体験など様々な経験ができるように工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	66%	34%		・個で行うこと、集団で行うことのどちらも実施できる環境にはありますが、実施した後のフィードバックができない時があります。今後は、計画をもとに支援した内容を振り返る環境を整えていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・毎日、朝礼と昼礼にて活動内容や支援内容、役割分担を確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	66%	34%		・その日のうちに支援の振り返りを行うことは送迎業務などもあり難しいが、翌日の朝礼で共有するようにしている。また、緊急の連絡は職員それぞれが必ず管理者または児童発達支援管理責任者に連絡しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%		・支援計画とつながるような記録と支援の在り方の評価体制を整えて行く必要があります。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	83%			未記入17% ・6ヶ月に一度モニタリングの時間を作って頂き、計画についての見直しを保護者の皆様と行っています。また、必要に応じて面談の時間を作って頂き、お子様の様子をお聞きすることもあります。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			・児童発達支援管理責任者が参加し、事業所内の会議等でその内容を職員に伝達しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	66%	34%		・現状では開所時の挨拶や施設見学を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		50%	33%	未記入18% ※対象となる利用児童はおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		50%	33%	未記入19% ※対象となる利用児童はおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	66%	34%		・相談支援専門員の方を通して、保育所や幼稚園在籍のお子さんの利用前に情報共有をさせて頂きました。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	34%	66%		・移行支援として、進学先の学校との情報共有はありませんでしたが、今後状況に応じて検討してまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17%	50%	33%	・開所時に幼児教室の職員に施設見学に来ていただきました。今後も他の事業所と連携を図っていきたくと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17%	33%	50%	・利用前に、相談支援専門員を通して、見学の機会を設けていただき、幼稚園を見学させて頂きました。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	33%	17%	50%	・児童発達支援管理責任者が協議会や連絡会に参加し、子どもにかかわる多職種の方々との情報交流を行いました。今後も積極的に参加し、地域の連携を深めていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%		17%	・送迎時や電話での聞き取りにより、利用しているお子様の様子についてお伺いしています。発達の状況や課題については、面談を通して共通理解を図り支援につなげていきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		50%	33%	未記入17% ・今年度ペアレント・トレーニング等は行っていませんが、必要に応じて利用者家族様との面談の機会を設け、家族支援に力を入れていきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・契約時に説明をしております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	83%		17%	・児童発達支援ガイドラインに基づき支援計画を作成し、保護者の皆様の同意を得て支援を行っています。今後は、職員間で支援内容を共有する機会を多く作り、ねらいに沿った支援に努めてまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%		・相談があった際は必要に応じて面談の機会を設け、ゆっくりお話しする機会を作り対応しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		50%	33%	未記入17% ・父母会や保護者会につきましては、開催の予定はありませんが、子どもたちの活動の中でイベントに参加してもらい交流できるような機会を検討していきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%		・苦情につながらないように気をつけていますが、苦情を受けた際は解決責任者である管理者に報告し、対応を検討する体制を整えております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・月1回のこころだよりで療育の様子や支援の目的をお伝えしております。(HUGの活用)
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%			・利用しているお子様関係の持ち出しは禁止となっており、職員間で個人情報の管理を徹底しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・迎えに来ていただいた際に様子を見ていただいたり、HUGのサービス提供記録を通して利用した時の様子が伝わりやすいよう写真を添えて伝えています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	50%	33%	・地域住民を招いた行事は行っていませんが、同じ系列の就労A型事業所の利用者さんやご家族を夏まつりに招待しました。子どもたちの普段の活動を知ってもらう機会を今後も設けていきたいと思っています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	66%	34%	・各種マニュアルを作成し、避難訓練は今年度2回行っています。今後は、実施報告等を含め、保護者の皆さんにも緊急時の動きを分かりやすく示していきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		・今年度は2回の避難訓練を実施しました。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか	100%		・契約時に体調に関する注意してほしいことについて聞き取りをしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	66%	33%	※現在、対象となる利用児童はおりません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	50%	・ヒヤリハットの事例を記録に残し、検討する機会を設けながら不慮の出来事を未然に防ぐことができるよう努めてまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		・事業所内研修で虐待防止研修を実施しました。また、外部講師の研修をオンラインで受講し理解を深めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	34%	66%	※現在、対象となる利用児童はおりません。 今後、可能性のあるお子様ご利用の際は、十分に関係者で検討した上で、支援計画書に記載しご家族に十分な説明を行い、同意を得る流れを行います。